



いいもの成らせるさくらんぼ便り

Vol. 4 摘果は実止まりをよく確認してから実施！

**4月27日早朝の低温で被害が拡大！
着果管理は結実を確認してから！！**

1. これまでの状況

(1) 降霜被害

- ・4月中旬までの降霜に加え4月27日早朝の低温でも被害が発生！
- ・園地によるバラツキがあるが、「佐藤錦」、「紅秀峰」で例年になく被害が発生！

(2) 開花状況等

- ・満開期は平年より4~5日早い：佐藤錦4/24、紅秀峰4/20（園芸研）
- ・今年は降霜の影響により枝単位や花束状短果枝での開花のバラツキが大きい

2. 着果管理対策 ~本年は急がない~

○ 摘果の前に自園地の実止まりをしっかりと確認！

表 通常の摘果実施時期の目安

	満開後日数	残りやすい果実の横径
佐藤錦	15~17日後	10~11mm以上
紅秀峰	14日後	7mm以上

☞ **霜害が多い園地では、この時期よりも実止まりが遅くなりやすい**

☞ **下向きの花束状短果枝や遅れ花の結実をよく確認**

○ 着果数を十分に確保できた場合は摘果を実施！

- ・霜害により、着果部位ごとの成りのバラツキが大きいので、着果の多少は樹全体で判断する！
- ・摘果は着果数が多い樹（受粉樹周り）や樹勢が弱い樹を優先して行う！
- ・4/27の低温で右図のような子房の褐変がみられる園地があるため、注意！



3. その他

- 乾燥が続くような場合は積極的なかん水を！（満開30日頃までが重要）
- 灰星病対策：10日おきを目安に薬剤散布を実施！

村山総合支庁農業技術普及課 ・ 西村山農業技術普及課 ・ 北村山農業技術普及課
TEL 023-621-8270 TEL 0237-86-8215 TEL 0237-47-8631

山形さくらんぼブランド力強化推進協議会（事務局：農林水産部園芸農業推進課・農業技術環境課）